

広報

3

Mar.2024
vol.651

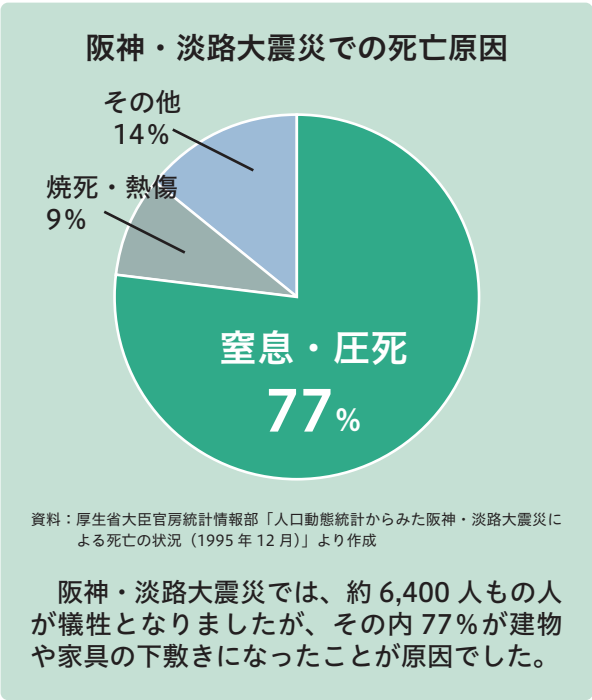


「鬼は外！福は内！」で無病息災願う

〔醸芳保育所・幼稚園で豆まき〕



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち



塀 ブロック塀や石塀の倒壊により、ケガや死亡する例もみられます。また、倒れた塀が道路をふさぐと、避難や救助・消火活動の妨げとなる場合もあります。必要に応じて補強・撤去をするか、植物などの生垣に変えることも有効です。

補助 3

ブロック塀などの耐震改修・除却

改修・造替
最大 10 万円

倒壊の恐れがあるブロック塀などの改修・撤去・造替工事費用の一部を助成します。

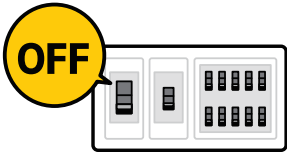
【対象となる塀】 次の全ての要件に該当する塀

- ①避難路沿道に面していること
- ②道路面から高さが 80cm 以上あること

■ 通電火災を防ぐ

地震などにより発生した停電が復旧したとき、損傷した配線や転倒したヒーターなどに再通電することで出火を引き起こす通電火災。避難所などへ避難している場合、出火時の初期消火が行えない恐れも。

日ごろから電気や電気製品の安全な取り扱いの知識を深めるとともに、停電発生時の適切な行動を確認しましょう。



■ 住宅や塀の耐震診断・補強

住宅 阪神・淡路大震災では、家屋などの倒壊による死者が約 8 割を占めました。昭和 56 年以前に建てられた建物は、旧耐震基準で建てられているため、耐震診断を受け、必要に応じて耐震補強を行いましょう。また、昭和 56 年以降に建てられた建物であっても、バランスが悪いものや地盤が悪い場所に建てられているもの、壁や基礎にひび割れがある建物なども注意が必要です。必要に応じて耐震補強を行い、自分の家の安全を確保しましょう。

補助 1

木造住宅耐震診断

耐震診断 + 補強計画
自己負担額 6 千円

木造住宅の耐震診断を希望する人に対し、診断者派遣を行います。

【対象住宅】 次の全ての要件に該当する住宅

- ①町内に存する住宅
 - ②所有者自ら居住する住宅
 - ③昭和 56 年 5 月 31 日以前に建設された住宅
 - ④在来軸組工法、伝統的工法、枠組壁工法による木造 3 階建以下の住宅
 - ⑤過去にこの事業による耐震診断を受けていない住宅
- ※増築を行った住宅は、対象外となる場合があります。

補助 2

木造住宅耐震改修

一般改修
最大 100 万円

簡易・部分改修
最大 60 万円

補助 1 の耐震診断により、耐震基準に適合しないと診断された木造住宅の耐震改修工事、現地建替工事費用の一部を助成します。

▶ 日ごろからの備え

- ・漏電ブレーカーや感震ブレーカーを設置する
 - ・耐震自動消火装置や転倒 OFF スイッチなどが付いている電気製品を使用する
 - ・可燃物の近くで暖房器具などを使用しない
- ▶ 停電時の備え
- ・電気製品のスイッチを切り、電源プラグを抜く
 - ・自宅を離れる場合は、ブレーカーを落とす
- ▶ 再通電時の備え
- ・壁内の配線や電気製品内部の損傷により出火する恐れもあるため、煙の発生など注視する

今年の 3 月 11 日で、東日本大震災から 13 年を迎えます。この間、熊本地震や北海道胆振東部地震など、全国各地で地震が発生しています。2021 年・2022 年には、最大震度 6 強を観測した福島県沖を震源とする地震が発生し、町内でも甚大な被害を受けました。そして、今年の 1 月 1 日には、最大震度 7 を観測した能登半島地震が発生。未だ多くの支援を要する状況が続いています。

いつ起きるか分からない自然の脅威である地震を防ぐことはできませんが、日ごろからの「備え」により身を守ることはできます。大切な命を守るために、もう一度、地震対策を確認しましょう。

大地震を想定して――

今日からできる 地震への備え

いつ、どこで発生するか分からない地震。そんな地震から身を守るためには、さまざまなことを想定した事前の備えが重要です。今日からできる地震への備えを、もう一度確認し、命を守る行動につなげていきましょう。

POINT 1 思わぬ危険から身を守る

■ 家具の転倒を防ぐ

地震により、建物への被害がなくても、家具・家電などが転倒し、下敷きになってケガをしたり、避難経路を塞いでしまったりする恐れがあります。家具などの転倒防止を防ぐさまざまなグッズが販売されていますので、自宅の家具や壁に合った器具類・使用方法を選び、適切に取り付けましょう。

▶ 万が一転倒したときのために、普段寝ている場所や部屋のドア付近、廊下、火気周辺には、倒れそうな家具類の設置は避けましょう。

ストッパー式
マット式

ポール式

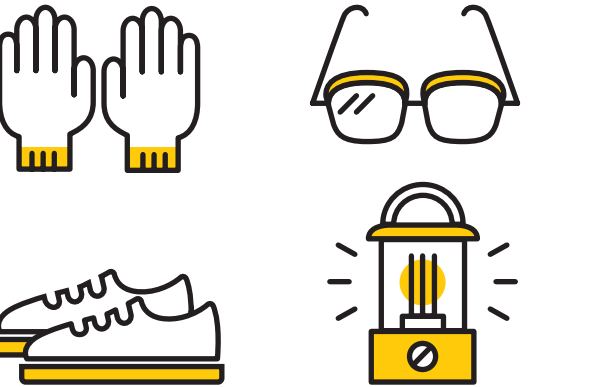
L 型金具

一番強度があるのは L 型金具ですが、ストッパー式・マット式とポール式を組み合わせることで、L 型金具同等の強度に！

■ ケガを防ぐ

地震後は、転倒などにより破損した家具・家電類の破片やガラス類の破片が床に散乱している場合があります。手足を保護するために、軍手や靴・スリッパなどを、複数箇所に用意しておきましょう。

▶ 夜間の地震発生に備えて、軍手や靴、懐中電灯、眼鏡などを枕元に用意しておきましょう。



防災知識を深めよう！

災害発生時、慌てずに適切な行動をとるためには、日ごろから防災知識を身に付けておくことが大切です。テレビやインターネットなどから防災に関する情報を収集する他、町で実施する防災訓練などに参加して、防災行動力を高めましょう。

— 参考資料 —

桑折町
ハザードマップ



総務省消防庁
防災マニュアル
(震災対策啓発資料)



POINT 4 情報の把握

最新の災害情報は、テレビやラジオ、インターネットなどで確認する他、町からの最新情報は、町公式ホームページやLINE、X(旧Twitter)、Facebookで確認できます。利用の際は、登録が必要なものもあるため、事前に済ませておきましょう。



ホームページ



LINE



X (旧 Twitter)



Facebook

能登半島地震 被災地支援職員の声 被災地での活動を終えて

町では、福島県や県内自治体とともに「ふくしま災害時相互応援チーム」の一員として、能登半島地震の被災地支援のため職員を派遣しました。派遣された職員から現地の状況や支援活動内容を聞きました。

震度5強を観測した氷見市では、液状化現象による被害が深刻で、住宅全壊が130棟を超えるほか、道路にも段差や傾きが見られました。罹災証明書の申請があった住宅の傾きや屋根・外壁・基礎の被害状況を確認し、損害割合を算定する住家被害認定調査を行う中で、初めての経験という話をお聞きし、元日の混乱が推察されました。私たちも過去の経験を忘れずに、日ごろから地震への備えを確認し合うことが大切だと改めて感じました。

東日本大震災や2度の福島県沖地震の災害対応業務の経験を活かし、微力ながらも住家被害調査にあたらせていただきました。氷見市の災害対応の様子や倒壊した家屋を目の当たりにするとともに、被災者の生の声を聞き、改めて地震の怖さを実感しました。氷見市を含む被災地の1日も早い復旧・復興を引き続き願うとともに、この貴重な経験を活かし、適切な防災・災害対応業務など、町の危機管理に努めていきたいと思います。



生活環境課 危機管理係
係長 幕田 将則



被害調査の様子



氷見市内の被害の様子



生活環境課 危機管理係
朽木 健太郎

POINT 2 非常持出品・非常用備蓄品を備える

■大地震が発生すると ライフラインが止まります

- 上下水道
 - ・飲料水がなくなる
 - ・トイレを流せない
- ガス
 - ・料理ができない
 - ・お風呂に入れない
- 電力
 - ・家電が使えない
 - ・スマホを充電できない

特に必要なもの



水



携帯トイレ



カセットコンロ
ボンベ



電池交換式
バッテリー



ヘッドライト

■防災グッズリスト

非常持出品・・・避難時に持ち出すものです。リュックサックなどに入れておきましょう。

非常用備蓄品・・・数日間、自宅で過ごす場合に最低限必要なものです（最低3日分、できれば7日分）

▼非常持出品

食料	☐ 非常食、水	医療品	☐ 常備薬
感染症対策	☐ マスク ☐ アルコール消毒液 ☐ 体温計 ☐ ウェットティッシュ	貴重品	☐ 救急セット ☐ 通帳、印鑑 ☐ クレジットカード
防災用品	☐ 携帯ラジオ ☐ 懐中電灯 ☐ ホイッスル ☐ ヘッドライト ☐ 乾電池 ☐ 電池交換式バッテリー	▼非常用備蓄品	
日用品	☐ メガネ、コンタクトレンズ ☐ タオル ☐ 歯ブラシ、液体歯磨き ☐ 生理用品 ☐ 携帯トイレ ☐ ポリ袋、レジ袋		
衣類など	☐ レインコート ☐ 下着 ☐ 毛布、ブランケット		
		食料	☐ 非常食、水（水は1人あたり1日3ℓ×3日＝9ℓ） ☐ カセットコンロ、ボンベ ☐ ラップ、紙皿、割りばし
		日用品	☐ ウェットティッシュ ☐ 体拭きウェットティッシュ ☐ トイレットペーパー ☐ ライター ☐ 携帯トイレ ☐ 新聞紙、タオル ☐ 乾電池 ☐ 電池交換式バッテリー

ローリングストック

普段から少し多めに食料を買い置きし、日常生活で使った分だけ買い足していくことで、常に一定量の食料を備蓄しておくことができます。



POINT 3 連絡手段の確認

地震発生後は、通信障害などにより連絡手段が限られます。家族離ればなれで被災したときなどを想定し、互いの安否確認手段を共有しておきましょう。また、居住地区の避難場所や自宅からの安全な避難ルートも確認しておきましょう。

▶災害発生時には、「災害用伝言ダイヤル171」や「災害用伝言版（web171）」が利用できます。詳しくは、右記二次元コードまたはご利用の通信事業者ホームページなどでご確認ください。

災害用伝言
ダイヤル171



災害用伝言版
（web171）





▲ピカピカの制服を受け取り、小学校での新たな生活に期待を膨らませる園児

町は、令和6年度新入園児・新入学児童生徒へ入園・入学のお祝いとして、町内の幼稚園と小学校の制服を贈呈しました。この事業は、子どもたちに新たな気持ちで幼稚園や小中学校の生活を送ってほしいという思いと、入学時における保護

者の経済的負担の軽減を目的に実施しています。2月22日には、醸芳幼稚園で贈呈式が行われ、会田智康教育長が「新しい制服を着て、すばらしい学校生活を送ってください」と挨拶。園児らは、制服を受け取り、新生活に胸を膨らませました。

新しい制服に心踊らす 新入園児・新入学生に制服贈呈



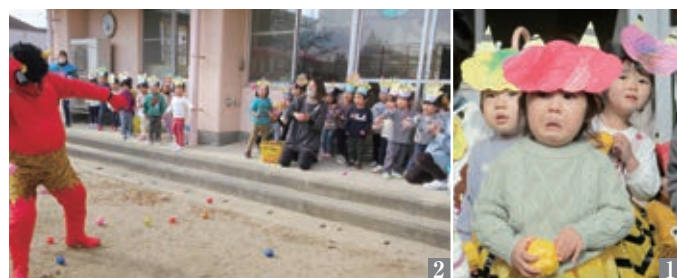
1_大人への一步を踏み出す生徒の皆さん 2_立志証書を受け取る生徒代表の岡崎菜穂さん 3_誓いの言葉を力強く述べる土屋さん 4_「チャンスを掴むために心・頭・体を大切に」と話す渡邊さん

志高く希望を持って未来を拓く 令和5年度桑折町立志式

町青少年育成町民会議主催による立志式が2月2日、イコーゼで行われ、数え年で15歳の節目を迎える醸芳中学校2年生73人が参加しました。

式では、同会議会長の高橋宣博町長から立志証書が授与され、誓いの言葉では、生徒代表の土屋

光生さんが「社会に貢献できる人を目指し、日々挑戦・努力していく」と誓いました。式の後、銀の森治療院院長・福島県鍼灸師会理事の渡邊健さんによる記念講演が行われ、一人一人が社会の一員としての自覚を新たにしました。



1・2_保育所に現れた大きな鬼に圧倒される子どもたち。泣いて笑ってみんなで鬼を追い払いました 3・4_幼稚園に現れた3体の鬼にひるむことなく立ち向かい、全力で豆を投げる園児たち

節分の日を前に、1年の無病息災と心の成長を願い、醸芳保育所・幼稚園で、毎年恒例の豆まきが行われました。2月1日、2日に行われ、保育所では、金棒を振り回しあばれる大きな赤鬼が現れ、テラスで待ち受けていた子どもたち

が、豆に見立てた球を一生懸命に投げて鬼を追いかけていました。幼稚園では、3体の鬼が現れ、手作りの鬼のお面を被った園児らが鬼を取り囲み、勢いよく豆を投げつけました。「鬼は外!」という元気いっばいな声が、園中に響き渡りました。

「鬼は外、福は内」で無病息災 保育所・幼稚園で節分の日豆まき



1_緊張気味にグラブを受け取る 2_はめたり触ったりして喜びを表す 3_右利き用2個・左利き用1個 4_キャッチボールを披露した児童からは「このグラブが似合う野球選手になる」との声が

「野球しようぜ」大谷グループ 町内小学校へ届く

米大リーグ「ロサンゼルス・ドジャース」の大谷翔平選手が全国の小学校へ寄贈した野球グラブが町内小学校にも届きました。

伊達崎小学校では1月16日、贈呈式が行われ、佐藤浩哉校長から「このグローブが、次の世代に

夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望む」という大谷選手のメッセージを読み上げ、代表児童にグラブを手渡しました。その後、キャッチボールが行われると、児童らは目を輝かせながら、特別なグラブの感触を確かめました。

広告

広告

広告



第70回文化財防火デーに伴う防火訓練が1月28日、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」で開かれ、町消防団や一般参加者ら約130人が訓練に参加しました。1月26日の「文化財防火デー」に合わせて行われた当訓練。旧伊達郡役所の

町の誇りを火災から守る 第70回文化財防火デー防火訓練

2階バルコニー付近から火災が発生したことを想定し、避難誘導や通報、消防署・消防団による放水訓練が行われ、消火体制を確認しました。そのほか、参加者による消火・放水体験なども行われ、地域の防災・防火の意識向上を図りました。

1_町消防団員による旧伊達郡役所への放水
2_初期消火の要となる消火器の正しい使用方法を訓練 3_訓練には、消防署や町文化財保護審議会・保存会、町女性防火クラブ、周辺町内会の皆さんが参加 4・5_伊達地方少年少女消防クラブの皆さんも放水訓練を体験

みんなで確認！火災予防 女性消防隊による幼稚園防災教室

▶隊員の掛け声に元気よく返事をする園児たち



町女性消防隊による防災教室が1月26日、釀芳幼稚園で開かれました。教室では、火事が起きたときの行動について覚えてほしいことをテーマに、クイズを出題。火事が起きたら「火事だ！」と大声で周りの人に知らせることや火

より煙の広がりが早いこと、服に火がついてしまったときの対処法など、実演を交えながらみんなで考えました。園児らは、火の怖さを想像しながら、元気よくクイズに答えたり、掛け声をかけたり、隊員と一緒に火災予防について学びました。

広告



▲幼稚園・小学校・中学校の給食費無償化

多くのご寄附をいただきました 令和5年度ふるさと納税

令和5年度のふるさと納税は、令和6年1月末時点で前年度実績（1億4,368万円・8,182件）を上回る2億157万円（10,614件）のご寄附をいただきました。

皆さんの応援を力に、「住み続けたい住みたいまち 桑折」の実現に向け、各種施策を進めていきます。ふるさと納税を活用した今年度の主な事業（100万円以上）は、次の通りです。

☎ 582-2111
総務課 財政係

事業の種類	活用事業	充当額（千円）
教育	給食費保護者負担軽減事業	34,000
教育	学校 ICT 支援員配置業務	1,500
町長おまかせ	伊達桑折 IC 周辺道路整備設計業務	8,000
町長おまかせ	入学祝い制服支給事業	5,400
農業振興	献上桃 30 周年記念献上桃の郷元気応援事業	3,400
社会福祉	献上桃の郷おでかけパス利用助成事業	5,400

新時代の生涯学習指針 生涯学習計画（第3次）策定

町は、社会情勢の変化に対応し、新時代における生涯学習の指針として、「生涯学習推進基本計画（第3次）」を策定しました。策定にあたり、昨年2月に実施した町民アンケート調査結果や外部の推進会議、アドバイザーの三瓶千香子教授（桜の

聖母短大）の意見をふまえ、つづいて「まなぶ」むすぶの3つを柱に基本計画を取りまとめ、令和6年度より、本計画に沿った各種事業の推進を図ります。計画の詳細は、教育文化課、イコゼ・地区公民館の他、町ホームページでも閲覧できます。

▶学びの要素が結実し一本の大樹（まちづくり）へつながっていくイメージを表現した表紙



▲町ホームページ

地域で見守る体勢づくり 認知症サポーター養成講座

町地域包括支援センターによる、睦合小学校6年生を対象とした「認知症サポーター養成講座」が1月19日、同校で行われました。

講座では、認知症の症状などを学び、「こんな時はどう声をかける？」などをグループで話し合い

ながら理解を深めました。最後に、サポーターの証であるオレンジリングなどが配られ、キッズサポーターとなった児童たち。「認知症は物忘れだけではないことが分かった」「困っている人を見かけたら優しく接したい」との感想が聞かれました。



申請～要介護認定までの流れ

■介護保険を利用できる人は？

原則として65歳以上の人です。ただし、特定疾病(16種類)と診断された場合に限り、40歳～64歳の人でも申請できます。

■申請から認定決定までの期間は？

およそ1か月です。緊急でサービスを導入しなければならない状態である場合などは、認定が出る前に「みなし」でサービスを利用することも可能です。



① 電話・窓口で相談

桑折町健康福祉課 福祉介護係(☎582-1134)
桑折町地域包括支援センター(☎582-1188)

② 要介護認定の申請

本人または家族などから申請します。
(包括支援センター、介護保険施設などが
代行申請することもできます)

③ 主治医意見書

町からの依頼で
主治医が意見書を作成します。

③ 訪問調査

認定調査員が自宅(または病院など)を
訪問して調査します。

④ 要介護度の決定

主治医意見書および認定調査に基づいて、
「介護認定審査会」で要介護度が決定されます。

要介護・要支援と認定
サービス利用の手続きをします。

非該当と認定
介護予防・生活支援サービス事業、
一般介護予防事業を利用



私たちも
お手伝いします

桑折町地域包括支援センター
(やすらぎ園内)
☎582-1188



広 告



利用者の 声

古山千寿子さん

結婚を機に桑折町民となった古山さん。同居していたご主人のご両親を在宅で介護されました。

「介護については知らないことばかり。地元の知人も少なかったため、どうしたらいいか不安でした。当時、民生委員を担っていた関係で、地域包括支援センターへ問い合わせたところ、丁寧に相談に乗ってくださいました。その後も、分からないことは町職員の方に教えてもらいながら、安心して介護保険を利用することができました。在宅での介護は大変なこともありましたが、担当のケアマネジャーさんが親身になって話を聞きながら、その都度必要なサービスを提案してくれました。義父を自宅で穏やかに看取ることができたのも、最期まで家族に寄り添ってくれたおかげだと本当に感謝しています。介護は長く続くもの。一人で背負わずに、介護保険を利用してほしいです」

将来に備えて確認しよう

おしえて！介護保険のこと

65歳以上の人が利用できる介護保険サービス。要介護・要支援認定を受けると、自宅で受けられる家事支援などのサービスや訪問・通い・宿泊で受ける介護サービス、福祉用具利用に関するサービスなど、さまざまな介護サービスを受けることができます。家族や自分のために、介護保険のことを考えてみましょう。

**65歳以上の5人に1人は
要介護(要支援)認定者**

令和5年11月現在、町の要介護(要支援)認定者数は約750人(要介護認定率は18・3%)で、およそ5人に1人が要介護(要支援)認定を受けています(住所地特例者含む)。

歩行が不安定になってきた、もの忘れや排せつの失敗が増えてきたなど、さまざまな理由で介助が必要になる場面が増えることが考えられます。心配事があれば、まずは町担当や地域包括支援センターに相談してみましょう。

「知ってみよう介護保険のこと」開催します

町職員・地域包括支援センター職員が介護保険の申請方法や使い方についてお話しします。気軽にご参加ください！

日にち	時間・場所	
3月21日(木)	10:00～ 桑折町役場	15:00～ 伊達崎公民館
3月22日(金)	10:00～ 睦合公民館	15:00～ 半田公民館

※詳しくは、町ホームページ(下記二次元コード)をご覧ください。

■問い合わせ 健康福祉課 福祉介護係 ☎582-1134



広 告

3	Mar.2024 Calendar
3/6	WED 広報こおり3月号・広報こおり「お知らせ版」 おはなし会 ★
7	THU
8	FRI 成人講座「質の良い睡眠とは」 ◆
9	SAT
10	SUN 大木内科医院 ☎575-3343
11	MON 健康チェック&相談日 ♥
12	TUE 1歳6か月児健診（R4年7月・8月生）
13	WED 中学校卒業証書授与式 ★
14	THU 成人講座「健康飲酒のススメ」 ♥
15	FRI ◆★
16	SAT
17	SUN 大山クリニック ☎583-2136
18	MON 幼稚園修了証書授与式 ♥
19	TUE 広報こおり「お知らせ版」 3歳6か月児健診（R2年7月・8月・9月生）
20	WED 掛田中央内科 ☎586-1315 だて耳鼻科バオバオ ☎583-4178
21	THU セミナー「知ってみよう！介護保険のこと」 ♥
22	FRI セミナー「知ってみよう！介護保険のこと」 小学校卒業証書授与式 ◆★
23	SAT
24	SUN かしの木内科クリニック ☎551-1411
25	MON 保育所修了式 ♥
26	TUE すくすくカフェ「ママトーク」
27	WED ★
28	THU ♥
29	FRI ◆★
30	SAT
31	SUN 神岡クリニック ☎586-1318 伊藤皮膚科クリニック ☎551-1121
4/1	MON
2	TUE
3	WED 広報こおり4月号・広報こおり「お知らせ版」
4	THU
5	FRI 保育所保育始めの会 ◆

●成人講座 ●子ども向け講座 休当日当番医
◆母子手帳交付・すくすくの日
（☎582-6045）へ事前にご連絡ください。
【子育て支援センター】：イコーゼ 10:00～11:30
♥ベビールーム（1か月～1歳5か月ごろのお子さんと保護者）
★キッズひろば（1歳6か月ごろ～就園前のお子さんと保護者）

Recipe

管理栄養士のおすすめレシピ

塩分
0.9g



■材料（4人分）

鮭……………2切身

しいたけ……………4枚

えのきだけ……………適量

しめじ……………適量

玉ねぎ……………1/2個

万能ねぎ……………少量

かぼちゃ……………1/16個

パプリカ……………少量

マヨネーズ……大さじ3

④ スkimミルク…大さじ2

みそ……………大さじ1

レモン……………適宜

ミニトマト……………4個

■作り方

①しいたけ・玉ねぎ・かぼちゃ・パプリカは薄切りにする。えのきだけは1cmの長さに切り、しめじは小房に分ける。鮭は半分に切る。

②ねぎは小口切りにし、④と混ぜ合わせておく。

③1人分ずつアルミホイルに、玉ねぎ・鮭・きのこ・かぼちゃをのせ、②をかけ、パプリカをのせて包む。

④湯気のあがった蒸し器で15分間蒸す。ミニトマトを添え、くし形に切ったレモンをしばって出来上がり。

ここがポイント！

きのこ類をたっぷり使用し食物繊維が多く、血糖値低下に作用します。また、鮭からたんぱく質、かぼちゃ・パプリカからビタミンA、スキムミルクからカルシウムも摂れ、栄養バランスの良い一品です。

check

コロナワクチン接種
3月末で終了

新型コロナウイルスワクチン接種（秋開始接種）は3月31日までです。

9月20日以降にワクチンの接種を受けていない人で、接種を希望する人は早めの予約をお願いします。

※65歳以上の人の接種券は郵送済です。

■予約先 健康福祉課 健康増進係 ☎582-1133

Koori Health

NEWS

早寝・早起き・朝ごはん

と

脳の成長について

子育てアドバイス

子どもの体や脳の成長発達

の

基盤は

生活リズムです

子どもの体や脳の成長発達

の

基盤は

生活リズムです

生まれたばかりの赤ちゃんは、昼夜関係なく眠っています。そして親とともに朝の光を浴びたり、日中起きて遊んだり、夜暗くなって就寝したりする

ことを繰り返したりしていることで、少しずつ生活リズムがついていきます。

早寝・早起きの習慣は

どうすればつけられるの？

人間の体は、暗くなると、自然に眠くなりますが、なかなか寝てくれない場合もあるでしょう。そんなときは、次の事を試してみてください。

①電気を消し、部屋を暗くする。

②大人が添い寝する。

③日中は戸外で遊び太陽の光を浴びる。

④寝る1時間前くらいは携帯やゲームをしない。

朝ご飯って

どんなものがいいの？

本来、体を休ませる夜に品数を多くご飯を摂取するより、これからエネルギーを使う朝に、品数多くご飯を食べた方が良いとされています。そして、朝は腹持ちが良く**ブドウ糖を安定して脳に送る動きをする、お米**がおすすめです。そこに1品、卵や納豆、いろいろな野菜を入れた具沢山の味噌汁などを加え、**よく噛んで食べれば**より効果的です。時間があるときは、そこに肉類や魚類、緑黄色野菜、海藻類、フルーツなど全品追加するのも良いし、その中から1品を追加するだけでも良いでしょう。

人間は、生まれた時、ほぼ他の子と大きな差がなく生まれてきます。しかし、小学校くらいになると、能力に少しずつ差が出てきます。その大きな要因は「**早寝・早起き・朝ごはん**」と**言葉かけ**や**愛情**なのではないでしょうか。正しく生活環境を整えて、生まれてきたわが子の能力を、より引き出してあげましょう。

広報こおり

12

広報こおり | Mar 2024 | 12

TOWN'S STAR

まちの人キラリ



第62回如月杯囲碁・将棋大会が2月11日、イコーゼで行われ、参加者24人が盤上で熱い戦いを繰り広げました。▶将棋一般の部Aクラス：優勝 佐藤隆雄、準優勝 佐藤忠成、第3位 佐藤一男▶Bクラス：優勝 渡辺恭央、準優勝 桐澤征司、第3位 氏家文男▶小中学生の部：優勝 中川雄太、準優勝 武藤有希、第3位 小幡優翔▶囲碁一般の部Aクラス：優勝 佐藤善利、準優勝 原田寛、第3位 幕田義男▶Bクラス：優勝 佐藤芳夫、準優勝 佐藤英司、第3位 佐藤利夫(敬称略)

図書だより

図書館「よも〜よ」 ☎582-5388

今月のおすすめ / 勝負の世界



一般書

■エヴァーグリーン・ゲーム

石井仁蔵：著(ポプラ社)

世界有数の頭脳スポーツでありながら日本では、まだ競技人口の少ないチェス。その魅力にとりつかれた、4人の若者たち。それぞれの事情を抱えながらも、彼らは己のすべてをかけて盤上の戦いに挑む。命懸けの勝負の行方は!? 第12回ポプラ社小説新人賞受賞作品です。



児童書

■絵で見て楽しい! はじめての相撲

西尾克洋：著 鍛山瑛一：監修

(すばる舎)

相撲は1000年以上の歴史がある、世界にほこる日本文化のひとつ。土俵の外に出るか、体の一部が地面に着いたら負けという、とてもシンプルなルールながら、勝つためにさまざまな技を使っており、知れば知るほど奥が深い。相撲の歴史や技、力士の一日や番付などを一から解説。相撲観戦がさらにおもしろくなります!

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

世界にひとつの作品 陶芸教室でモノづくりの楽しさを

成人講座「陶芸教室」が2月9日、イコーゼで行われ、参加者19人が粘土での作品づくりに取り組みました。

講師は、睦合地区にある「桃山房窯」の鈴木徹さん。絵皿やマグカップ、大きめの飾り皿など、日常使いできそうな器を思い思いに製作しました。大体の形が出来上がったら、3色の粘土や表面に凹凸の模様を付けるスタンプを使い、模様を付けて仕上げました。さまざまな道具とアイデアで表現の幅を広げ、世界にひとつだけの作品をつくりました。

毎年恒例の人気講座ということもあり、連続して参加している人も多く、互いにアドバイスをしながら、和気あいあいとモノづくりを楽しみました。作品は、鈴木さんの窯で丁寧に焼き上げ、3月ごろに完成する予定です。



INFORMATION

郡役所deワークショップ 御朱印帳づくり



郡役所deワークショップ「御朱印帳づくり」が2月3日から4日にかけて、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」で行われ、2日間で16人が参加しました。今回は、前回好評だった「御朱印帳づくり」の第2弾として開催。町内外からの参加者は作成キットを使い、持参したお気に入りの布を貼り付け、オリジナルの御朱印帳を作成しました。

今後も多数企画を行いますので、ぜひご参加ください。

マルベリーこおり

図事務局 ☎582-3129

ゲレンデに歓声響く

みんなで楽しく上達「基礎スキー教室」



マルベリーこおり主催のスキー教室が1月27日を皮切りに全3回、みやぎ蔵王白石スキー場で行われ、のべ73人が参加しました。今シーズンは、暖冬による雪不足で開催が心配されましたが、開催日近くに積雪があり、無事実施することができました。一人一人のレベルに合わせて、MZ白石スノースポーツスクール講師やクラブスタッフから指導を受けながら、思う存分にスキーを楽しみました。回を重ねるごとに上達し、「もっと滑りたい」「友達と一緒に滑れて楽しかった」との好評の声も多くありました。



親子で学ぶ おこづかい教室

クリスマスや正月でおこづかいが増える時期に合わせて、オープンキッズスクール「おこづかい教育出前教室」が1月28日、イコーゼで行われ、8家族21人が参加しました。ジブラルタ生命の安藤明美さんを講師に招き、「おこづかい管理はどうしている?」「家事の手伝いをした時におこづかいを渡している?」「良い成績がとれた時のご褒美は?」など、各家庭の状況を聞きながら、今後の生活に活かせるよう、親子で共に金銭の使い方について考えました。



冬の運動不足解消 ポッチャ大会

公民館長杯新春ポッチャ大会が1月29日、イコーゼで行われました。参加者36人は3人ずつのチームになり、ABC各コート4チームのリーグ戦で戦いました。

ポッチャは目標の白い玉に自分たちの玉をいかに近づけるかがポイントの競技。「上手、上手」「おいしい」などとチーム内外からの声掛けに奮起したり励まされたりしながら、初心者も経験者も和気あいあいと競技しました。家にこもりがちな冬に、楽しく笑っていい汗をかけた大会となりました。



願いを込めて 節分飾りを作ろう

成人講座「節分飾りを作ろう」が1月26日、イコーゼで行われました。まずは、台になる板の形と鯛・豆・柊、色とりどりの和紙のパーツを選びます。次に、材料の貼り付け作業。材料の組み合わせや向きはどうするか、じっくりと考えながら配置しました。最後に、「無病息災」「五穀豊穡」「心願成就」などの願い事を書いた短冊を貼り付けて、自分だけの節分飾りを完成。たなごころの羽田稔さんから節分にまつわる話も聞き、参加者は笑顔いっぱいでした。



ごみ減量化インフォメーション

図生活環境課
☎ 582-2123



4月からごみの収集日程が変わります！

4月より、収集日程の見直しを以下のように行います。もやせるごみにしてしまいがちな紙資源の回収を強化し、ごみ減量化を図ります。次世代へ「こおりの豊かな環境」を引き継ぐために、町民の皆さんのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

4月からの収集日程

■変更点

- 火曜日の「もやせるごみ」が「紙資源回収」に変更になります。
- 土曜日の「古紙回収」の収集がなくなります。
- 桑折地区の第3火曜日、陸合・伊達崎・半田地区の第1火曜日の収集は休みとなります。



地区	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
桑折地区 (追分含む)	もやせるごみ	第1粗大ごみ 第2・4・5 紙資源回収	第1・3・5 びん・ペット 第2・4 もやせないごみ	プラ容器包装	もやせるごみ	
陸合・伊達崎 半田地区	もやせるごみ	第3粗大ごみ 第2・4・5 紙資源回収	プラ容器包装	第1・3・5 びん・ペット 第2・4 もやせないごみ	もやせるごみ	

■家庭ごみは、伊達地方衛生処理組合へ直接搬入できます！

家庭で出たごみは、伊達地方衛生処理組合へ直接搬入することができます。搬入の際は、住所・氏名などを確認しますので、運転免許証やマイナンバーカードなどを持参してください。

町のごみ排出量
※1人1日あたりの排出量

令和5年12月
1,074g 前月比-27g
福島県平均(令和3年度)1,029g

分別に困ったら…
伊達地方衛生処理組合のホームページで検索



広告

わたしの夢

Dreams come true.

人助けができる電車の車掌 後藤 充喜さん(醸芳中3年生)

私の夢は、人助けができる電車の車掌になることです。祖母の家が飯坂線の近くにあったことで、幼少期から電車を身近に感じる事が多く、小学校に入るころには、車掌になる夢を抱いていました。令和3年福島県沖地震の際、悪天候の中、臨時運行していた列車が、乗客を目的地まで安全に送り届けたニュースが流れました。乗客の不安を少しでも軽減しようと、きめ細かな対応をした車掌の姿に胸を打たれ、車掌への思いがより一層強くなりました。今は、鉄道イベントに参加したり、車掌の動きを観察したりしながら夢を膨らませています。平常時のみならず、非常時にも乗客をサポートできる車掌を目指し、今後も知見を深めていきたいです。



MITSUKI
GOTO

好きな車両は、E4系MAXです。高校生になったら、全国各地へ鉄道の旅に出かけたいです。

こおりスマイル You have a good smile.



二瓶 菖くん

おしゃべり上手になってきたね！ ママ・パパより♡



早川 ひなちゃん

のびのびすくすく大きくなあれ！ ママより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！ ①最近撮影した写真 ②氏名(ふりがな)・性別 ③メッセージ(20字程度)を記入して応募してください。【応募先】総合政策課 ☐seisaku@town.koori.fukushima.jp



二次元コードから簡単にメール送信できます▶

まちのお知らせ Town information.

マイナンバーカード申請サポート

職員が出張して申請のお手伝いをします

役場職員が職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポート！完成したカードはご自宅へ郵送します。

■対象

企業や団体、家族、友人同士など(人数制限なし)

■対応日時

原則、平日9:00～12:00 / 13:00～16:30の間

■お願い

会場手配、申請者取りまとめ、申請書配布などの準備は、申込団体をお願いします。

図税務住民課 住民国保係 ☎582-2114

みんなのSDGs



環境への負荷が少ない車で荷物をお届けします（左から小型EVトラック、小型FCVトラック）

交通安全を最優先に環境保全にも—— 物流を通じて地域へ貢献

佐川急便株式会社 福島国見営業所

「信頼・創造・挑戦」を理念に掲げ、物流サービスを展開する佐川急便株式会社福島国見営業所。交通事故のない安全な社会の実現と環境負荷のない物流に努めるなど、SDGsの目標達成に貢献しています。

「国連の京都議定書の採択に賛同し、1997年には、業界に先駆け、二酸化炭素排出量の少ない天然ガストラックを導入しました」と話す東京本社CSR推進部CSR推進課長の竹下博士さん。その後も、技術の進化とともにハイブリッドやEV、燃料電池トラックなど、より環境に優しいトラックへの切り替えを進めています。ドライバーのユニフォームには、ペットボトルをリサイクルした素材を使用し、2022年度までに約1、743万本分のペットボトルを再利用。また、環境に優しく安全な「エコ安全ドライブ」も実践。事故が起こりやすいポイントでは、指差し確認やふんわりアクセルなどを徹底するほか、昨年10月には釀芳幼稚園で交通安全教室を開催するなど、地域に密着した活動も行っています。同営業所の須藤裕一さんは「今後も宅配便の事業活動を通じて、地域社会に貢献していきたい」と意気込みました。

【編集後記】

▶その昔、京都の鞍馬にいた鬼が都を襲おうとしたときに、豆を投げつけ鬼の目をつぶして災難を逃れたという逸話があります。「魔の目（魔目＝まめ）に豆を投げつけて魔を滅する（魔滅＝まめ）」に通じることから、豆まきが行われるようになったそうです。今年の節分の日、鬼役として、わが子たちから豆をぶつけられました。たまに姿を現しては、感情のままに怒ってしまう、私の中に住みつく本物の鬼も滅してくれと切に願いながら（大越）

◆人口（前月比）2月1日付

人口	計	11,024人	(-26)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,356人	(-11)
	女	5,668人	(-15)
世帯数		4,613世帯	(-6)
転入	24人	出生	2人
転出	23人	死亡	29人

◆町税納付は口座振替を！

町税の納付は、納め忘れの心配がいらぬ「口座振替」が便利です。税務住民課で申し込みができます。

問税務住民課 収納係
☎582-2114

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日下午5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。